

2024/1/22 東アジア資金部 ソウル室 +82-2-3782-5859

先週のマーケット動向(1月15日~1月19日)

為替、株式

| | Open | High | Low | Close | Chg |
|---------|----------|----------|----------|----------|----------------|
| USD/KRW | 1,313.5 | 1,346.7 | 1,313.5 | 1,339.0 | +25.5 |
| JPY/KRW | 9.0474 | 9.1439 | 8.9948 | 9.0114 | ▲0.039 |
| KOSPI | 2,525.69 | 2,536.06 | 2,429.12 | 2,472.74 | ▲ 52.31 |

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は下落。前週とほぼ同水準の1,315.5 ウォンでオープンし、米国でのインフレ指標発表を通過した材料探しの相場となる中、15 日、16 日は中東や北朝鮮で高まりつつある地政学リスクが意識され、安全資産であるドルが買われた。加えて海外時間には FOMC メンバーの中でも真っ先に利下げの可能性を示唆してきた FRB ウォラー理事が、迅速な利下げをしたり急いだりする必要はないと利下げに慎重な姿勢を示し米金利が大幅上昇。17 日のドル/ウォンは一時1,346.7 ウォンまで上値を伸ばした。18、19 日と週末にかけては1,346 ウォン付近で当局の口先介入があったことも意識されてか上値重く、上昇は一服する形に。結局ドル/ウォンは先週末比+25.5 ウォンと大幅上昇となる1,339.0 ウォンでクローズした。

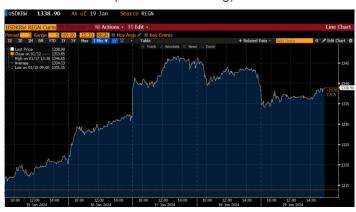
今週の見通し

今週のドル/ウォンはやや上値重い推移を予想。先週のドル/ウォンは米早期利下げ期待の後退から急騰するも、週末にかけては一服感も出てきており、今週は自律反発するような形でドル/ウォンはやや軟調地合いでの推移か。翌週に控えるFOMCが一番の材料となり、引き続き米金利動向に振らされる展開が継続しよう。今週は日銀会合やECB会合といった中銀イベントを控えており、米国以外の金利・金融政策動向にも注意したい。

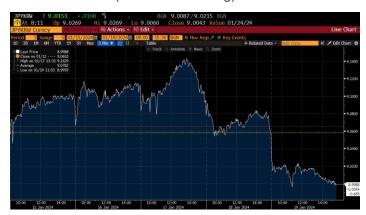
予想レンジ

| USD/KRW | JPY/KRW | USD/JPY | |
|-------------|-------------|---------------|--|
| 1315 ~ 1345 | 8.90 ~ 9.20 | 146.0 ~ 149.0 | |

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

23日(火) 日 BOJ 政策金利発表

24日(水) 欧 1月 消費者信頼感指数 速報値

米 1月 製造業PMI 速報値

欧 1月 製造業PMI 速報値

米 1月 サービス業PMI 速報値

欧 1月 サービス業PMI 速報値

日 12月 貿易統計

25日(木) 米 1月 失業保険新規申請者数

米 12月 耐久財受注 速報値

米 12月 新築住宅販売件数

米 4Q GDP 一次速報

韓 4Q GDP 一次速報

欧 ECB 政策金利発表

26日(金) 日 1月 東京都区内CPI

米 12月 個人所得

米 12月 個人消費

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。